

令和4年 5月27日(金)

【研修内容】

○保健体育科授業研究（授業者：富岡 宏健）

4校時 9年生「共に生きる～バリアを生み出すのか、壊すのか～」

（体育理論・球技ゴール型）

【研修の目的】

○オリンピック・パラリンピック教育の授業モデルとしての考案

○教科横断（保健体育・道徳・総合的な学習の時間）型の授業

○体育理論と体育実技との領域横断としての授業モデルの構築

【単元計画】

第1次 私たちは、スポーツを通してどのように考えているか……………2時間（本時その1）

第2次 パラスポーツに挑戦しよう……………5時間

第3次 新たなスポーツとスポーツとの関り……………3時間

【本時の目標】

スポーツを取り巻く環境やニュースに触れることで、自分たちが抱いている考えを見つめ直すことができる。

【授業の実際】

・「意識上のバリア」という健常者が障害のある方に対して抱く無意識の感情に目を向けることができるように、スポーツ基本計画の一次から三次への移り変わりをもとに考えた。障害者へのスポーツがもたらす意義や、スポーツ自体がもつ価値の変遷などから、新たなスポーツの価値に気付くことができた。

